

最高裁秘書第4587号

平成31年3月27日

林弘法律事務所

弁護士 山 中 理 司 様

最高裁判所事務総長 今 崎 幸 彦



司法行政文書開示通知書

平成30年8月28日付け（同月29日受付、最高裁秘書第3579号）で申出のありました司法行政文書の開示について、下記のとおり開示することとしましたので通知します。

記

1 開示する司法行政文書の名称等

- (1) 平成30年8月24日付け法務省人検第187号「検事への採用手続について」（片面で1枚）
- (2) 検事採用願（片面で1枚）
- (3) 面接票（No. 1）（片面で1枚）
- (4) 面接票（No. 1）【記載例】（片面で1枚）
- (5) 面接票（No. 2）（片面で1枚）
- (6) 面接票（No. 2）【記載例】（片面で1枚）
- (7) 検事採用願等作成要領（片面で1枚）

2 開示しないこととした部分とその理由

1の(3)及び(4)の各文書には、公にすると職員採用に当たっての評価方法の一端が明らかになり円滑な採用事務に支障を及ぼすおそれがある情報（面接選考における評価者の着眼点等に当たり得る情報）が記載されており、この情報は、行政

機関情報公開法第5条第6号ニに定める不開示情報に相当することから、この情報が記載されている部分を開示しないこととした。

2 開示の実施方法

写しの送付

担当課 秘書課（文書室） 電話03（3264）5652（直通）

法務省人検第187号

平成30年8月24日

司法修習生（A班） 殿

法務省大臣官房人事課長 伊藤栄二

（公印省略）

検事への採用手続について

あなたは、本年12月に司法修習生としての修習を終了される予定ですが、修習終了後検事への採用を希望する場合は、下記の書類を同年9月12日（水）までに検察教官宛て提出してください。

なお、提出書類の用紙（下記の1～3）は、司法研修所事務局企画第二課にありますので、同課に申し出てください。

記

提出書類

- | | |
|---------------------|----|
| 1 検事採用願 | 1通 |
| 2 面接票（No.1） | 1通 |
| 3 面接票（No.2） | 1通 |
| 4 法科大学院成績証明書（修了者のみ） | 1通 |
| 5 写真 | 3枚 |

検事採用願

平成30年 月 日

法務大臣 殿

ふりがな
氏名

印

生年月日 昭和・平成 年 月 日 生

私は、本年12月司法修習生の修習終了後、検事に採用願いたいので、必要書類及び写真を添えて出願いたします。

なお、私は、日本国籍を有しております、国家公務員法第38条各号及び検察庁法第20条各号のいずれにも該当しておりません。

面接票 (No. 1)

ふりがな 氏名			生年月日(年齢)	昭和・平成 年 月 日生()	修習地		
住所	電話 — —						
最終学歴	年 月	大学	学部	学科()卒			
	年 月	大学法科大学院()	科	専攻)修了			
検事志望に 当たっての抱負							
検察に対する 感想							
特 技 資 格							
	その他						
家 族 の 状 況	続柄	氏名	生年月日	職業等	住 所	健康状態	同・別居
自己の性格				趣味 し好		出身地	

面接票 (No. 1) (記載例)

ふりがな 氏名	ほうむたろう 法務太郎	生年月日(年齢)	昭和・平成 年月日生()	修習地			
住所	(※住民票に記載されている住所)				電話		
最終学歴	平成25年3月 △△大学 法学部 法律学科(第I類)卒 平成29年3月 △△大学法科大学院(○○○科 ○○○専攻)修了						
[Redacted]							
検事志望に 当たっての抱負							
検察に対する 感想							
特 技 資 格	[Redacted]						
	その他 [Redacted] の資格・能力など法律学の分野以外の専門的知識があれば、その種 目と程度(専門的知識については、例えば「大学で専攻履修」などと記入すること)						
家族の状況	続柄	氏名	生年月日	職業等	住所	健康状態	同・別居
	父	法務一郎	昭和00年0月0日生(00年)	会員	東京都千代田区霞が関0-0-0	良好	同居
自己の性格	(例) 長所: 物事に動じない、明るい 短所: 鮑きっぽい、頑固			趣味 し好	(例) ツーリング(バイク) 囲碁(2段)	出身地	東京都

面接票 (No. 2)

面接票 (No. 2) 【記載例】

ふりがな 氏名		ほうむ務 たろう郎 印			生年月日	昭和 年 月 日 生	
年	月	日	事項			庁名	
			学歴				
平成 18	4		東京都立○○高等学校入学				
21	3		同校卒業				
	4		△△大学法学部法律学科入学				
25	3		同卒業				
27	4		△△大学法科大学院 (○○○科○○○専攻) 入学				
29	3		同修了				
			経歴				
平成 25	4	1	神奈川県事務吏員に採用する				
			行政職(一)○級△号俸を給する				
26	4	1	○号俸を給する				
27	3	31	辞職を承認する				
29	11	27	司法修習生を命ずる				
30	12	12	司法修習生の修習終了				
			試験・資格・免許等				
平成 21	11	25	第一種普通自動車運転免許取得				
22	11	5	簿記検定二級試験合格				
24	10	3	神奈川県職員採用上級試験合格				
28	11	4	司法試験予備試験合格				
29	9	12	司法試験合格				
			賞罰				
			なし				

検事採用願等作成要領

検事採用願等関係書類は、所定の用紙に黒又は青インクを使用し、次の要領により正確に記載すること。

1 検事採用願

法務大臣名については空欄のままで差し支えない。

2 面接票 (No.1) [別添 (記載例) 参照]

A班の者は平成30年8月24日現在、B班の者は同年10月3日現在で、それぞれ記載すること。

法科大学院を修了した者は、卒業大学及び修了法科大学院を「最終学歴」欄に記載すること。

出身地（自己が出身地と認識している場所で差し支えない）については、都道府県名を記載すること。

3 面接票 (No.2) [別添 (記載例) 参照]

次の事項に留意の上、学歴、経歴、試験・資格・免許等、賞罰の項目ごとに、それぞれ年月日順に正確に記載すること。

(1) 学歴

学歴については、「年月」の記載で足り、義務教育終了後の就学学校名（高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、各種学校、法科大学院等）・学部科名及び入学、卒業、修了及び中退の別を記載すること。

法科大学院に入学して中退等をした場合には、面接票 (No. 1) には記載せずに面接票 (No. 2) に記載すること。

(2) 経歴

国、地方公共団体、公庫、公社、独立行政法人及び民間企業等の勤務経歴を記載し、司法修習生の修習についても、その始期及び終了の年月日をそれぞれ記載すること（修習終了の年月日は、予定年月日を記載すること。）。

なお、国、地方公共団体、公庫、公社、独立行政法人等の勤務経歴を有する者は、これらの経歴を証明する書類（所属の長が証明する履歴書等）を添付すること。

(3) 試験・資格・免許等

職務との関係の有無にかかわらず、合格又は取得の年月日順に全てを記載すること。

(4) 賞罰

受けたことがあるときはその詳細を年月日順に、ない場合には「なし」と記載すること。

4 法科大学院成績証明書（和文）（修了者のみ）

修了した法科大学院が発行した成績証明書（写しで可）を提出すること。

なお、検事採用願提出時までに同証明書の提出が間に合わない場合は、後日検察教官に提出すること（10月末頃までに）。

5 写真

縦横4センチメートル、上半身、脱帽、無背景、出願前3か月以内に撮影したものとし、裏面に撮影年月日及び氏名を記入すること。

※裏面に氏名等を記載した後はインクがよく乾いた後で写真を重ねること。

6 その他

- (1) 検事採用願及び面接票 (No.2) について記入を訂正するときは、訂正印を押すこと。面接票 (No.1) については、押印は不要である。
- (2) 経歴を証明する書類（3(2)なお書）が検事採用願提出時までに入手できないときは、後日これらの書類を検察教官に提出すること。
- (3) 提出書類に記載した事項に変更が生じたとき、又は変更が生じる予定があるとき（婚姻して姓が変わった又は変わる予定がある場合など）は、その旨を速やかに検察教官に申し出ること。